

2018年度上期決算説明会

代表取締役社長 志藤 健

YOROZU

株式会社 ヨロズ

東京証券取引所市場第1部 (証券コード：7294)

目次

- I. 2018年度上期業績
- II. 2018年度通期予想
- III. 米国での収益改善の進捗
- IV. 最近の状況
- V. 株主還元

I. 2018年度上期業績

II. 2018年度通期予想

III. 米国での収益改善の進捗

IV. 最近の状況

V. 株主還元

2018年度上期連結決算概要 (前年同期比)

単位：百万円

	2018年度 上期	2017年度 上期	前年同期比	2018年度 上期予想 ※2	上期予想比
売上高	82,433	85,709	△3.8%	83,500	△1.3%
営業利益	2,589	3,148	△17.7%	2,600	△0.4%
経常利益	2,790	3,888	△28.2%	2,800	△0.4%
当期純利益 ※1	1,673	2,584	△35.3%	1,600	+4.6%
	2018年度上期	2017年度上期	増減額	増減率	
一株当たり当期純利益	70円40銭	108円73銭	△38円33銭	△35.3%	
連結取り込みレート	108円67銭 / \$	112円34銭 / \$	△3円67銭 / \$	△3.3%	

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2018年5月10日開示予想値

(2018年8月9日開示予想値変更なし)

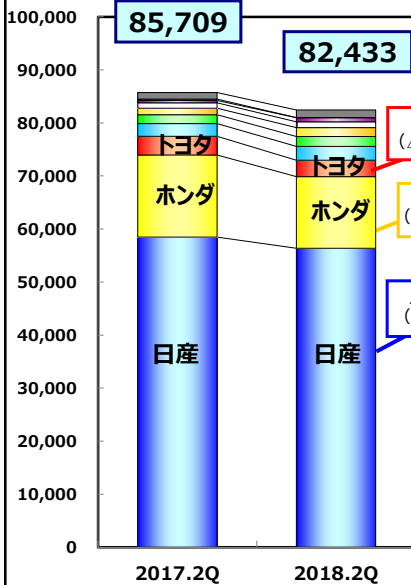
売上高 : 中国増加も、米国減少により減収
 営業利益 : テネシー大幅改善も、米国・メキシコ、日本の生産減少などにより減益
 経常利益 : 為替差益の減少により減益
 当期純利益 : 上記に加え、米国法人税率引き下げに伴う税効果影響により減益

連結得意先別売上高 (17年上期 対 18年上期)

YORZU

単位：百万円

単位：百万円



得意先	2017.2Q	(%)	2018.2Q	(%)
日産 Gr ※	58,462	68.2%	56,356	68.4%
ホンダ Gr	15,479	18.1%	13,504	16.4%
トヨタ Gr	3,522	4.1%	3,091	3.7%
いすゞ	2,399	2.8%	2,611	3.2%
マツダ	1,672	2.0%	1,862	2.3%
スズキ	1,224	1.4%	1,680	2.0%
クボタ	1,023	1.2%	1,092	1.3%
VW	439	0.5%	772	0.9%
GM Gr	258	0.3%	24	0.0%
その他	1,231	1.4%	1,441	1.8%
合計	85,709	100.0%	82,433	100.0%

※ ルノー向け売上含む

日産・ホンダ向け減少により減収

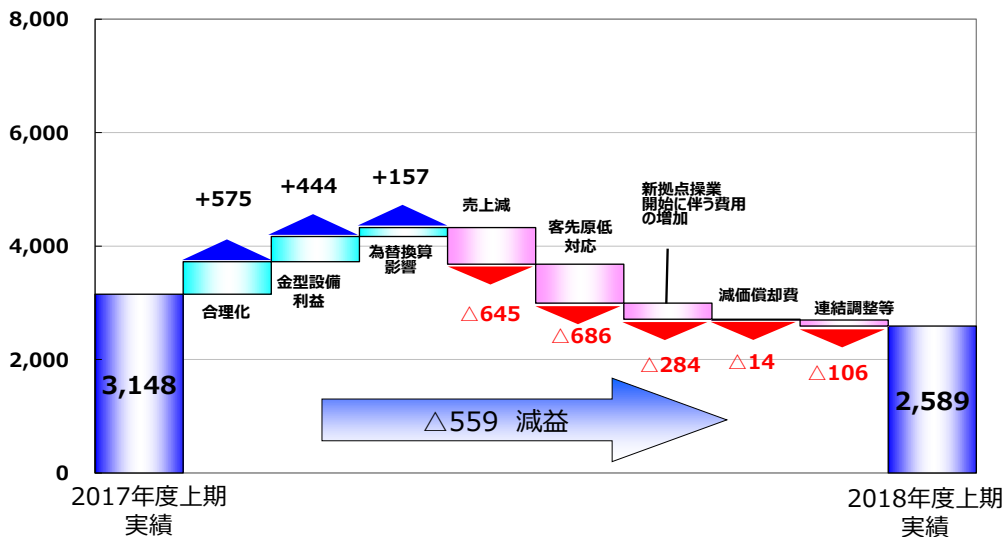
© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

5

連結営業利益の増減要因分析 (17年上期 対 18年上期)

YORZU

単位：百万円

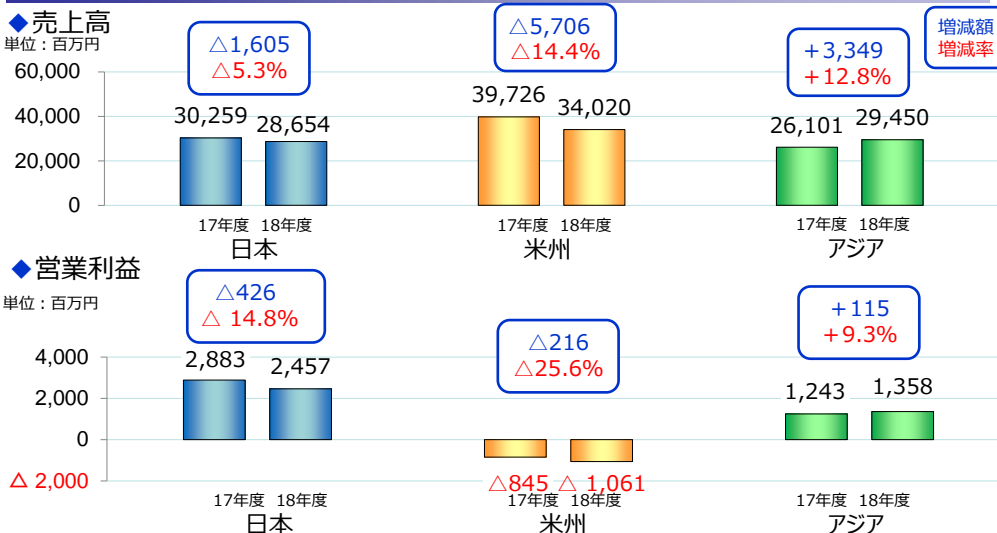


合理化や金型利益などの増益要因あるも、米国・メキシコ、日本の生産減少による売上減少や、アラバマ稼働による立上げ費用の増加などにより減益

© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

6

地域別(連結調整前)売上高・営業利益(17年上期 対 18年上期) YOROZU



日本：金型売上の減少に加え部品売上減少により減収、部品売上減少などにより減益
 米州：米国・メキシコの生産減少により減収
 テネシーは大幅に改善進むも、アラバマ本格立上げ費用とメキシコ固定費増などにより営業損失
 アジア：中国好調により増収、タイの改善も寄与し増益

7

連結貸借対照表の概要 2018年9月期 YOROZU

単位：百万円

	2018年9月末	2018年3月末	増減
流動資産	63,257	69,590	△6,333
固定資産	104,354	105,493	△1,139
資産合計	167,611	175,083	△7,472
流動負債	40,826	45,632	△4,806
固定負債	32,631	32,435	+196
負債合計	73,458	78,068	△4,610
株主資本	83,955	82,845	+1,110
その他の包括利益累計額	△5,466	△2,992	△2,474
非支配株主持分他	15,663	17,162	△1,499
純資産合計	94,153	97,015	△2,862
負債・純資産合計	167,611	175,083	△7,472

現預金 △1,793
 電子記録債権 +212
 棚卸資産 △408
 受取手形及び売掛金 △3,287
 その他流動資産 △1,057

有形固定資産 △1,214

電子記録債務 △509
 支払手形及び買掛金 △2,686
 短期借入金 △1,183

当期純利益 +1,673
 配当支払 △808

評価差額金 +130
 為替換算調整勘定 △2,632

売掛金、買掛金の減少などにより資産・負債減少

I. 2018年度上期業績

II. 2018年度通期予想

III. 米国での収益改善の進捗

IV. 最近の状況

V. 株主還元

2018年度連結業績予想の概要

◆ 損益の状況 (前期比)

単位：百万円

	2018年度 予想	2017年度 実績	前期比	2018年度 通期予想 ※2	通期予想比
売上高	169,000	171,536	△1.5%	171,000	△1.2%
営業利益	5,200	6,029	△13.8%	6,400	△18.8%
経常利益	5,300	5,648	△6.2%	6,300	△15.9%
当期純利益 ※1	3,100	2,717	+14.1%	4,000	△22.5%

	2018年度予想	2017年度実績	増減額	増減率
一株当たり当期純利益	130円42銭	114円31銭	+16円11銭	+14.1%
連結取り込みレート	110円00銭 / \$	112円16銭 / \$	△2円16銭 / \$	△2.0%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2018年5月10日開示予想値

(2018年8月9日開示予想値変更なし)

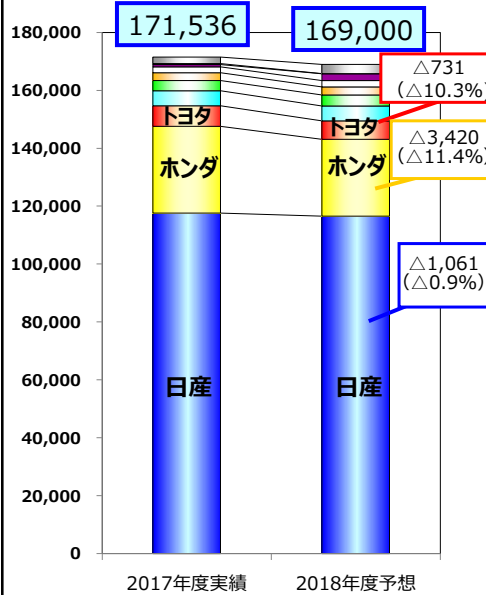
売上高 : 米国の得意先生産台数減少などにより減収の見込み
 営業利益 : テネシーの改善は力強いものの、米国の売上減少や
 将来に備えた投資に伴う固定費負担増加などにより減益の見込み
 当期純利益 : 米国法人税率引き下げに伴う税効果の一過性影響解消により増加の見込み

連結得意先別売上高 (17年実績 対 18年予想)

YORZU

単位：百万円

単位：百万円



得意先	17年度実績	(%)	18年度予想	(%)
日産 Gr ※	117,638	68.6%	116,577	69.0%
ホンダ Gr	29,968	17.5%	26,548	15.7%
トヨタ Gr	7,106	4.1%	6,375	3.8%
いすゞ	5,188	3.0%	5,140	3.0%
マツダ	3,532	2.1%	3,810	2.3%
スズキ	2,702	1.6%	2,782	1.6%
クボタ	2,028	1.2%	2,189	1.3%
VW	785	0.5%	2,339	1.4%
GM Gr	342	0.2%	64	0.0%
その他	2,247	1.3%	3,176	1.9%
合計	171,536	100.0%	169,000	100.0%

※ ルノー向け売上含む

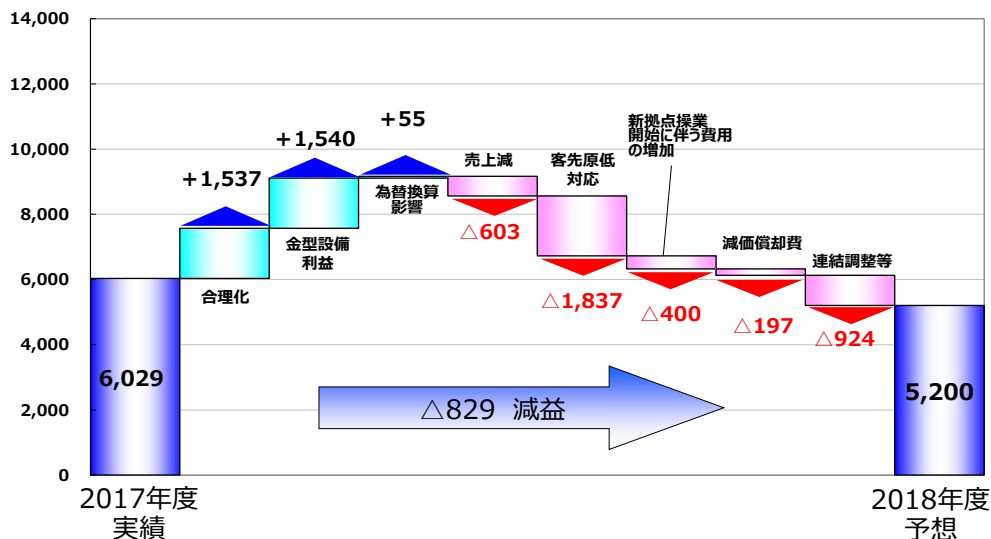
日産・ホンダ向け減少により
減収の見込み

© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

11

連結営業利益の増減要因分析 (17年実績 対 18年予想) YORZU

単位：百万円



合理化や金型利益の増益要因ある中、メキシコ得意先の長期休止影響含んだ売上減少や、アラバマ本格稼働による立上げ費用増加などにより減益の見込み

© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

12

地域別(連結調整前)売上高・営業利益 (17年実績 対 18年予想) YOROZU

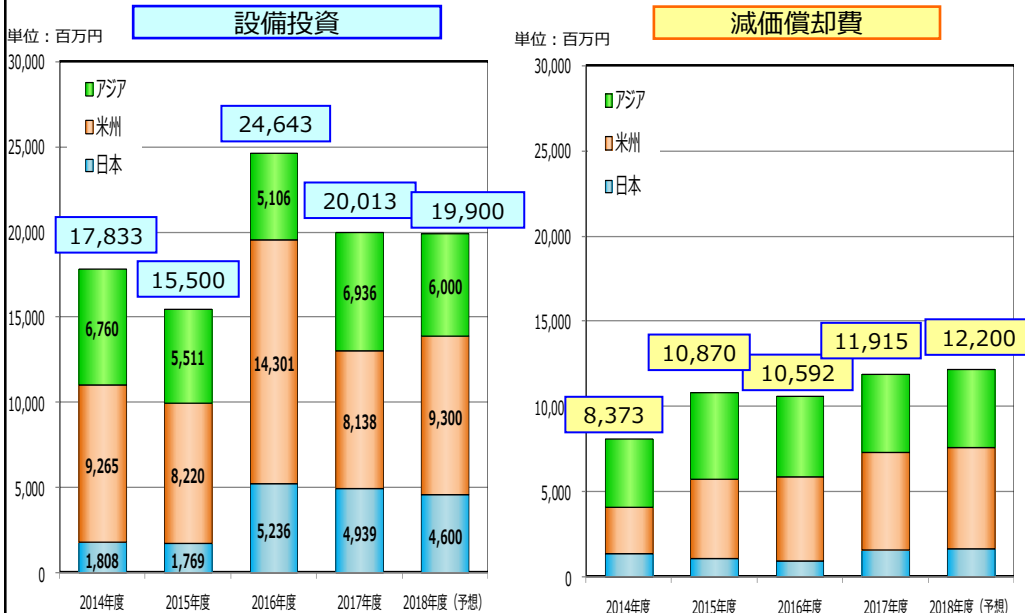


日本：金型売上減により減収、営業利益はほぼ横ばいの見込み
 米州：売上減少も米国テネシー大幅改善により損失は縮小の見込み
 アジア：中国・インドネシアでの増加により増収、中国3,500トンプレスの償却費増加などにより利益は減益の見込み

© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

13

設備投資と減価償却費 YOROZU



© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

14

I. 2018年度上期業績

II. 2018年度通期予想

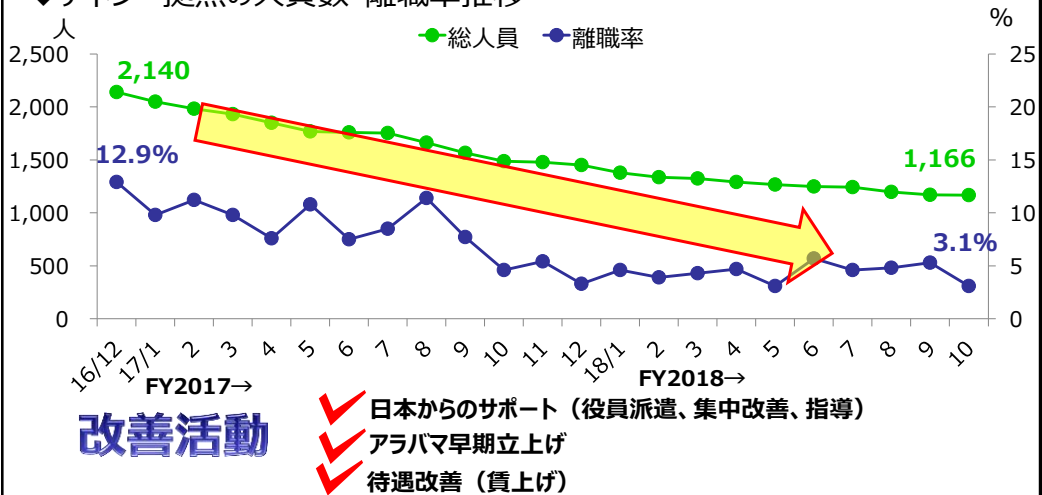
III. 米国での収益改善の進捗

IV. 最近の状況

V. 株主還元

米国での収益改善の進捗

◆ テネシー拠点の人員数・離職率推移



テネシー拠点の人員数・離職率は改善活動により着実に減少
改善効果見えるも、生産台数減少により2018年はブレークイーブンやや厳しめ

米国での収益改善の進捗 (テネシー改善事例)

YOROZU

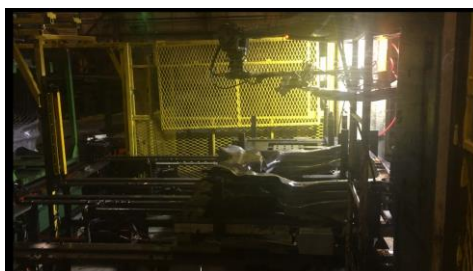
改善前



チェック：1名 荷姿：2名

改善後

チェック・荷姿：無人化



現地アメリカ人による自発的な改善マインドが着実に浸透

© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

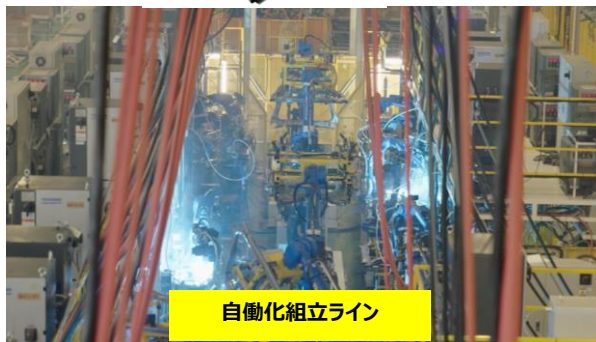
17

米国での収益改善の取り組み (アラバマ拠点)

YOROZU

アラバマ本格操業開始

日産アルティマ新モデル納入開始 (2018年8月～)



自動化組立ライン

© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

18

- I. 2018年度上期業績
- II. 2018年度通期予想
- III. 米国での収益改善の進捗
- IV. 最近の状況**
- V. 株主還元

最近の取り組み・ダイジェスト

- (1) 収益力強化の取り組み
- (2) 製品力・開発力の更なる強化
- (3) 企業力の充実
- (4) 2018年度の品質賞

収益力強化の取り組み①

YOROZU

ダイムラー自動化ライン（海外の取り組み）



自働溶接ライン外観

メルセデスベンツのAクラスセダンのサスペンションをメキシコで生産開始

© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

21

収益力強化の取り組み②

YOROZU

プレス自動化（国内の取り組み）



無人材料供給装置（アイロボ）による完全自動化の実現

© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

22

製品力・開発力の更なる強化

YOROZU

軽量化開発 ; 2018~2020の位置づけ



© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

23

製品力・開発力の更なる強化~軽量化開発~

YOROZU

旧型アルティマ

【SOP】



US : 2012年6月

新型アルティマ

【SOP】

US : 2018年 8月

北米向け日産アルティマ Front SUSPENSION MEMBER

項目	旧型		新型	
主な材質	540MPa級		540MPa級	
主な板厚	1.8mm		1.6mm	
主な部品数	29点		17点	
重量	32.1kg		25.6kg ✓ ▲20.2%	

北米仕様では構造簡素化/薄板化の提案により、大幅な軽量化の実現

© YOROZU CORPORATION. 2018 All Rights Reserved.

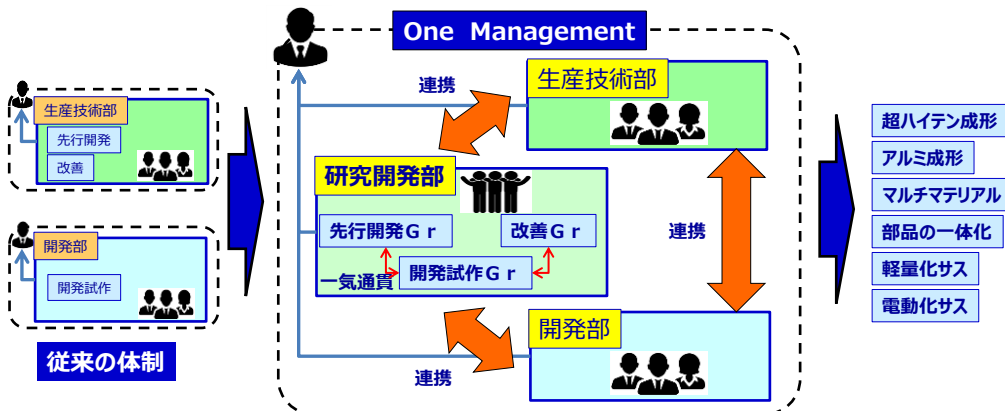
24

企業力の充実

組織の見直し

■ 先行開発の強化

▶ 先行開発グループを研究開発部に強化し、新工法・新構造部品の開発の効率化・スピードアップを図る



企業力の充実

組織の見直し

■ ダイバーシティ推進グループ新設

▶ 働き方改革委員会（スマートワークコミティ）で話し合われたアイデアや、各部門からの提案を具体化、制度化していく



2018年度上期の品質賞



北米日産よりリージョナル
品質賞ファイナリスト(メキシコ)



トヨタ自動車東日本より
品質感謝状 (本社)



ホンダブラジルより
品質・納入優秀賞
(ブラジル)



タイ日産よりリージョナル品質賞ファイ
ナリスト (タイ)



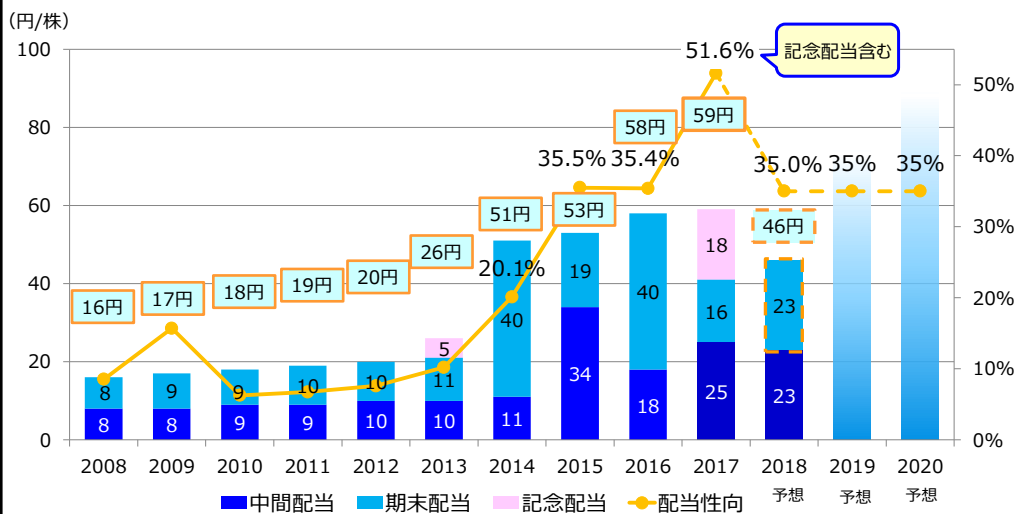
日野U.S.A. より
品質優秀賞 (アメリカ)



いすゞ自動車より
品質達成賞 (本社)

- I. 2018年度上期業績
- II. 2018年度通期予想
- III. 米国での収益改善の進捗
- IV. 最近の状況
- V. 株主還元**

財務戦略：株主還元策の拡充



目標配当性向は2018年度以降も35%を継続

2018年度上期 YOROZU 決算説明会
ご清聴ありがとうございました

30ズ ホームページアドレス
<http://www.yorozu-corp.co.jp>

免責事項と著作権

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

責任者： (株)ヨロズ 取締役副社長執行役員 財務部長 佐草 彰
担 当： (株)ヨロズ 財務部 高橋 剛健

T E L 045-543-6802 F A X 045-543-4915